

博物館実習の履修条件について
(平成18年度入学者)

平成18年1月
教務委員長
中田 雅敏
博物館実習担当
秋吉 正博

1. 平成18年度入学者の博物館実習の履修条件

平成18年度入学者の場合には、平成16、17年度入学者の場合と博物館実習の履修条件が異なりますので、出願を検討している方は、本学の人間開発教育課程のホームページをご覧ください。「資格メニュー」ページの「学芸員メニュー」欄とFAQの関連項目をお読み下さい。(人間開発教育課程ホームページURL：<http://study.jp/univ/ygun/>)

「学芸員メニュー」対象科目のうち、注意が必要なものは、博物館実習の履修条件です。

博物館実習の履修条件：本学で実習を希望する場合、他大学で取得した単位は認められませんので、必ず実習を履修する前学期までに、実習以外の学芸員メニュー対象科目を履修して単位を取得して下さい。

2. 履修条件の解説

博物館実習の履修条件については説明が必要ですので、以下説明します。

(1) 博物館が実習生の受け入れをする場合には、実習生公募で募集し、実習生を選考します。本学の博物館実習でも、原則として、実習希望者が実習担当教員と相談のうえ、希望先の博物館の実習生公募に応募し、受け入れていただくこととなります。実習希望者が事前に希望先の候補をいくつかピックアップし、実習担当教員および大学の了解のもと、その中から1つの博物館を選んで応募します。

(2) 博物館の実習生受け入れの条件には、博物館実習以外の学芸員資格科目を履修済みとする条件が付されることが多くなりました。また、博物館によっては、実習生の専攻分野を限定することがありますので、各博物館の実習生受け入れの条件をご確認下さい。

最近、応募先の博物館側からどのような指導をしているかという問い合わせがく

ることもありますし、実習中に「 についてどのような指導をしたのか」という問い合わせがくることもあります。

他大学で単位を取得している場合には、責任を持ってそれらの問い合わせに答えられず、皆さんにマイナスになりますので、人間開発教育課程会議にも諮って、実習以外の学芸員メニュー対象科目を履修してもらうことにしました。

(3) 博物館の多くは1年間の計画で事業を実施しているため、公募の場合、前年度の冬に実習生の受け入れをするか否かを決め、春にかけて実習生の公募をおこないます。したがって、春学期に入学しても、前年度中に募集が終わっていることも多いので、入学年度中に実習を履修できるとは限りません。また、秋学期に入学すると、実習の履修はおそらく翌年の春学期か、秋学期となります。

(4) 本学は開学まもない新しい大学です。皆さんの受け入れ実績如何が後輩の受け入れ状況にも影響を与えますので、本学学生としての自覚をもって実習にのぞんで下さい。

前学期までに実習以外の学芸員メニュー対象科目の単位を取得できなかった場合には、実習先が決定していても、その年度の実習を辞退していただくこととなりますので、ご注意ください。

平成16年度、平成17年度入学者には別途、案内を出します。